

海外派兵は許されない

支部会で
竹内氏 安保法制について説明

都・区
京下

公明党の竹内譲衆院議員(京都府本部代表)は7月18日、京都市下京区内で開催された党下京支部(井上教子支部長・市議)の支部会に出席し、あいさつし

た。

竹内氏は、7月1日に閣議決定された安全保障法制整備に関する基本方針について、「あくまでも自国防衛に限定したものであり、これまでの憲法解釈の基本を継承している」と述べ、「解釈改憲に当たらない」と強調した。

また、「海外派兵が許されてしまうのではないか」との批判に対し、「閣議決定に自衛権発動の新3要件を盛り込み、厳格な歯止めをかけた。日本は専守防衛



支部会であいさつする竹内氏

を維持し、海外派兵は許されないという原則は変わらない」と力説した。

井上支部長は「多くの外国人旅行者が訪れる京都市が、近隣諸国との友好拡大をリードしていきたい」と語った。